

会長各位、

デフリンピック種目にマウンテンバイク（MTB）レース（訳注：オリンピック種目で MTB があるのは「MTB クロスカントリー」のようです。）を追加することに関して、具体的に説明させていただきます。一般的に、MTB 競技はオリンピック種目として広く受け入れられています。MTB 競技の発展は目覚しく、より多くの人たちが関心をもち、さらに多くのスポーツ選手が参加するようになってきています。

ろう者の最初の MTB レースは、2006 年にアメリカで開催された世界選手権で行われました。アメリカの会長であるボビー・スケズモ氏は、当該種目の質の高さを一般の人たちに示したいと考えました。その他にも 2008 年イタリアのヨーロッパ選手権でも公式のレースが行われています。ヨーロッパろうスポーツ組織（EDSO）は、この最初のヨーロッパ選手権を承認し、今後、一般の自転車競技と MTB 競技を切り離していく計画を了承しました。イタリアでのヨーロッパ選手権（EC）が承認されたのは、すでに試合の一ヶ月前だったため、参加したのは、8 つのヨーロッパの国々から 20 名でした。もっと早く承認されていたら、さらに多くの選手が参加することができたにちがいません。同じことが、2009 年のデフリンピックにも言えます。MTB レースがそれまでに承認されれば、参加者数は確実に増えるでしょう。MTB が独自の種目となることがわかれば、私たちの気持ちがどんなに盛り上がるかは、ご想像いただけたと思います。

ある信頼できる情報として、MTB レースをどこで、どうやって開催すればよいかという情報が、会長のもとに届いていないということを知りました。何枚かの衛星写真を見ましたが、台北の中心部近郊に、森や丘があるのをみつけました。そこに、3~5 キロの競技ルートをとることができるはずですが、約 6 回のラップで 30 キロを走行できるようにすればよいだけです。他の問題についても、競技ルートは、林の中、原っぱ、草地をはじめ、階段があるところでも設定することができます。そのため、道路の安全を確保するスタッフを必要とする通常の自転車競技よりも、はるかに簡単です。また交通整理をする警察官も必要ありません。こうしたことから、競技開催の費用は、参加費で賄うことができるでしょう。今年の北京オリンピックでは、いくつかの MTB レースが開催されました。中には、トラックで競技をする難しいものもありましたが、これはデフリンピックに取り入れる必要はありません。また上記に記しましたとおり、2006 年アメリカで開催された世界選手権でも MTB レースの様子をご覧いただくことができます。

CISS(グランフォース氏)は、もしデフリンピック中に開催できるなら、MTB をデフリンピック種目に追加することを認めています。これは全く新しい種目を追加するのではなく、自転車競技に追加するだけであるということが討議されてきました。

前述のとおり、MTB レースは 2006 年にアメリカで開催され、今年のイタリアのヨーロッパ選手権でも開催されました。ですから、このように高い評価を受けている MTB 競技をデフリンピック 2009 で開催しないというのは、考えられないことです。ヨーロッパでは、一

年に三度、MTB ろう者カップを開催していますが、80名にのぼる参加者を集めています。

どうか、あきらめずに、デフリンピックの種目としてMTB競技を採用し、スポーツ選手を勇気づけてください。2009年デフリンピックのMTB競技のために！！

以上

チェコろうスポーツ協会

チェコろう自転車部部長

パストルネク・パベル：チェコろう自転車部メンバー

Email:skivelo@olnet.cz